

高取町の

「新型コロナウイルスワクチン集団接種をめぐる問題」について

町議会 松本 圭司

表記の件につきまして我々に伝えられたのが、議会最終日9月16日の朝、議長から報告をうけました。内容は、7月11日の注射器1本余り、7月16日のワクチン再冷凍、8月1日の接種済みシール2枚不足の3件の不祥事で、9月16日付けで発行される週刊新潮の記事のコピーでした。

医療事故はあってはならないことですが、人間がやっているかぎり間違いが起りうることもあると思います。

しかし今回の出来事は、何ととっても2カ月も経過し週刊誌にのるから公表したという事でした。そこで、議長が提案された100条調査権を発動して事実関係を調査しなければとの思いでした。

100条議会での調査がほぼ終盤を迎えた今、町の実施部隊の体制ができていない事や、責任感のなさが浮き彫りになってきました。

最終的にはトップの責任はのがれられないところですが、100条議会では調査した事実関係をまとめて行政に対して是正事項を指示するところまでです。

どのような責任の取り方をするのかは、行政自体が決めることとなります。不祥事の対策、抗体検査・感染症検査はすでに進められていますのでこれについては遅きではありますが評価すべきところだと思います。

今後の接種対策の一つとして、個人的な考えですが、今回の接種では町職員が多すぎたこと。医療知識に乏しい人がワクチン取り扱いに携わっていたことなどを反省し、接種の主体は外部機関に任せて、町職員は接種に来られた町民の誘導、接種の監視などに振り向け、医療事故の防止に努めてもらえらと思います。